

令和3年度
愛媛県ノーリフティングケア
普及啓発モデル事業

社会福祉法人 西予総合福祉会
地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜



愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業報告

もくじ

1. 施設紹介
2. 応募理由
3. 導入にあたって
4. モデル事業開始
5. 取り組み
6. 導入後アンケート
7. まとめ
8. 今後の課題、取り組み
9. 終わりに

【 発表者紹介 】

開明の杜 ノーリフティングケア導入推進委員会

介護職員 橋本 和幸・宇都宮 勇次



※ 資料内の写真使用については、承諾を頂いて使用しております。

1. 施設紹介 ～ 西予市 ～



せい坊



西予市(2021年12月末日)

人口総数 : 35,876人
65歳以上 : 15,690人
高齢化率 : 43.7%
2045年(予測): 50.2%



野福峠の桜



宇和の街並み



開明学校



四国西予ジオパーク



わらマンモス



明浜みかん

1. 施設紹介 ~法人について~

おかげさまで設立50周年YAER。



まっぴ

公益事業

- ①松葉診療所

児童事業部

- ①うわまち未来こども園②なかよレクラブ (学童)
- ③中川保育園④ななほし中川 (学童)
- ⑤田之筋保育園⑥下宇和保育園
- ⑦明下田クラブ (学童)⑧明間保育園
- ⑨宇和保育園⑩子育て支援センター⑪トロクラブ (学童)
- ⑫石城保育園⑬多田保育園⑭高山保育園

老人事業部

- ①松葉寮②かえて
- ③朝明の杜④陽だまり
- ⑤ヘルパーステーションまっぴ
- ⑥皆楽園
- ⑦デイサービスセンター皆楽園
- ⑧あけはま荘
- ⑨明浜デイサービスセンター
- ⑩福祉の里デイサービスセンター
- ⑪遊友⑫陽より
- ⑬つつのみやさんの家
- ⑭ななほし中川
- ⑮あんしんの家
- ⑯三楽園⑰歩 (リハビリ)
- ⑱歩 (訪問看護)
- ⑲ケアハウスれんげ
- ⑳ケアハウスはまゆう

養護・障がい事業部

- ①松葉学園②いっとき館
- ③ほのほの
- ④夢の家・虹色の家 (GH)
- ⑤悠・華 (GH)
- ⑥なごみ (GH)
- ⑦きずな (GH)
- ⑧みやび・のぞみ (GH)
- ⑨希望の森
- ⑩ひまわりの家 (養護)
- ⑪ひまわりの家 (心理)

社会福祉法人 西予総合福祉会
 事務局 〒797-0020愛媛県西予市宇和町久枝甲1434番地1
 TEL (0894) 62-3773 FAX (0894) 62-2136
 URL : <http://www.seiyofukushi.com/>

1. 施設紹介

～施設概要～

施設名 : 地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜

所在地 : 西予市宇和町卯之町

設立 : 平成30年3月

入所定員 : 29名

3つのユニット

建物階層 : 2階建 (1階に併設施設)

平均年齢 : 89.7歳

平均要介護度 : 4.38

車椅子使用率 : 96%

男女比 : 4 : 25

併設 : 短期入所生活介護事業所(10床)

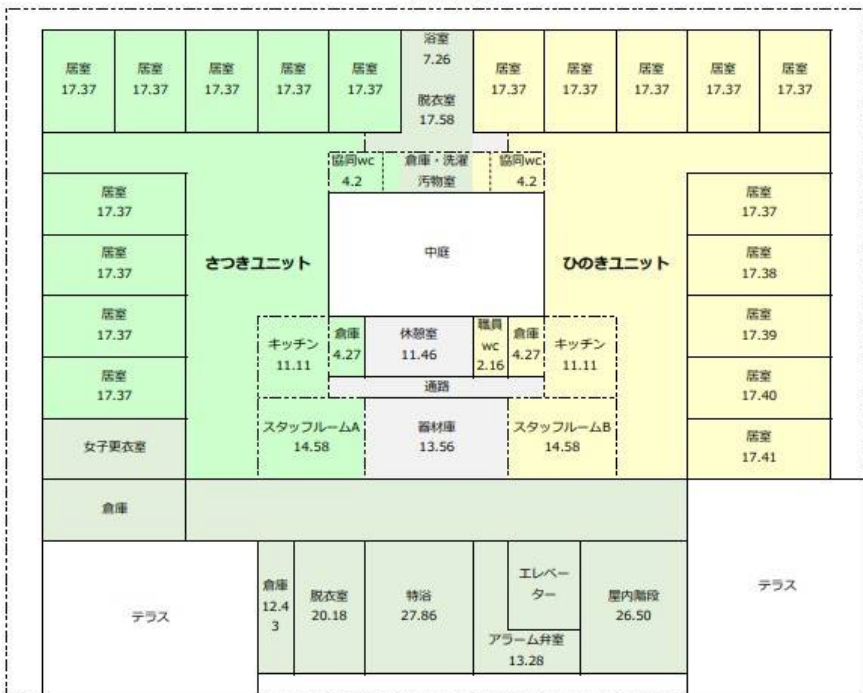
ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所



1. 施設紹介 ~施設概要~

2F図面



2階

1階

1F図面



1. 施設紹介

～職員について～

職員数:26名

(特養・短期入所合計)

介護職員 22名

看護職員 4名

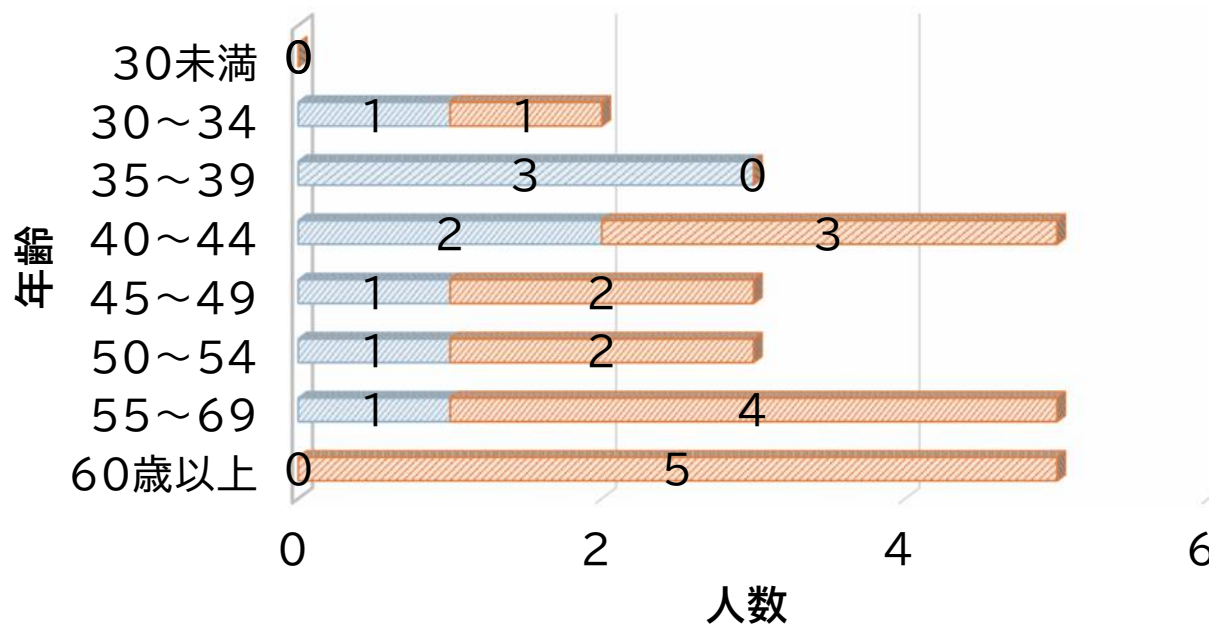
平均年齢:49歳

男性職員:42.67歳

女性職員:52.47歳

年齢層グラフ

■ 男性職員 ■ 女性職員



1. 施設紹介 ～職員について～

対象職員26名(介護職員・看護職員)に、法人内介護施設での経験年数を調査。

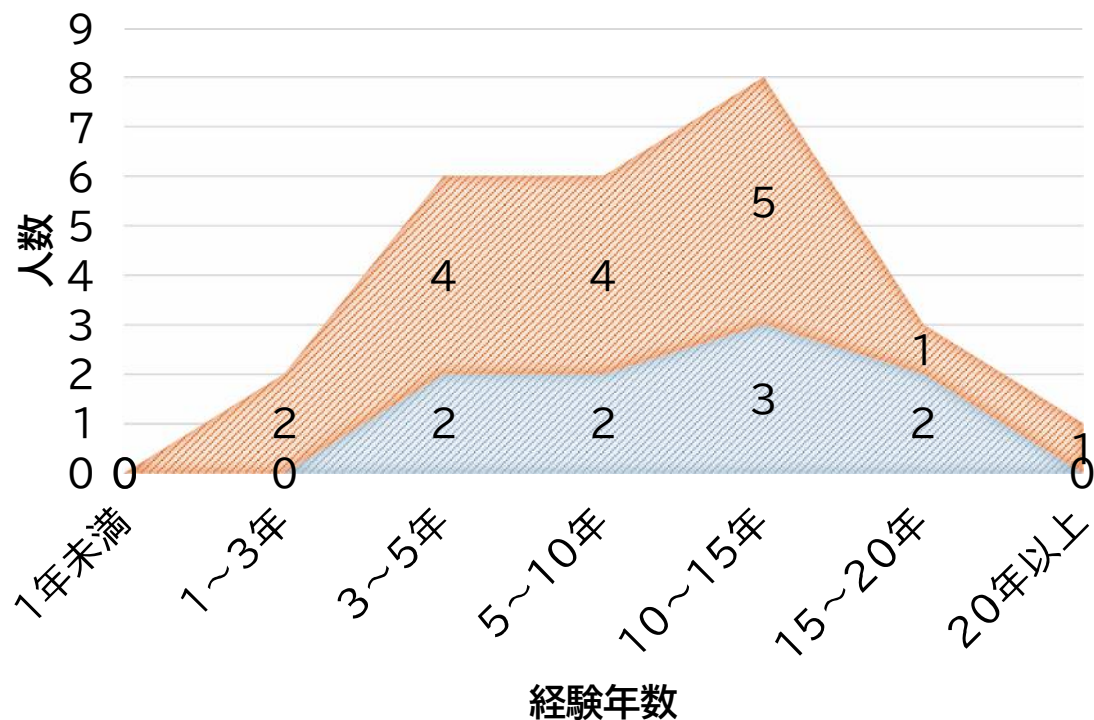
最も長い職員で22年目。

多くの職員が、長年、介護業務に携わっており経験豊富な職員が多く勤めています。



経験年数グラフ

■ 男性職員 ■ 女性職員



2. 応募理由

現状



- 今までの介護方法を変えたくない…
- 職員の理解にもバラツキがあり導入には程遠い…
- 道具があっても、使い方がわからない…
- 開設4年目と新しい施設だが、介護の技術は早さを重視した、昔ながらの方法…
- 知識を持っていても、異動したらゼロから…

課題



- 福祉用具がない…
- 時間に余裕がない…
- 何をどのように進めてよいか解らない…
- 忙しくて、時間を掛けられない…
- ノーリフティングケアを行う環境が整っていない…
- リフトや機械を使うのは不安…
- 知識を持って教える事ができる職員がいない…
- 「介護＝腰痛」が当たり前との認識…

◦ スタンダードになるであろう、新しい介護の知識や技術向上はもちろん、介護職の社会的地位を少しでも良くしたい。専門性の高い仕事だと認知され、魅力多い職種として浸透させるために、ノーリフティングケアは絶対外せないと思い、今回の事業に応募させていただきました。



3. 導入にあたって

～ 準備と流れ ～

2021年6月14日、『愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業所』としての選定を受ける。

2021/6/14 令和3年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業所の採用通知が届く。

2021/6/24 モデル事業 実施前説明会：（愛媛県総合社会福祉会館）

2021/6/25 「開明の杜 職員会」にて全職員に報告 職員の反応は…半信半疑

2021/7/24 「開明の杜 ノーリフティング導入推進委員会」開催



実施前説明会

様式1～5の作成：（導入前アンケート・優先度チェックリスト・要介護度別リスク見積書
ノーリフティング導入見積表・福祉用具機器導入計画表）

福祉用具等の確認：フレックスボード(1) イージーモーション(1) イージーグライド(2)

目標の再確認：「同じ目標に向かって、全員で導入を目指す。」など

2021/8/5 第1回 研修会

- ・
- ・
- ・



3. 導入にあたって

～ 様式6 実施計画書の作成 ～

【事業所名 〇〇】						
No.	課題	長期目標	期間	短期目標	期間	具体的内容
1	【腰痛予防】 腰痛を持つ職員が多い。	職員を守ることができる職場づくり。	1年	職員ひとり一人の意識が変わる。 ノーリフティングケアの浸透。	6か月	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーリフティング委員会、腰痛予防対策推進チームの発足。 ・持ち上げ、抱え上げ、引きずりなどのケアの廃止。 ・不良姿勢で行われる作業、負担のかかる作業すべての見直し。 ・定期的な腰痛健康調査 ・ストレッチ、体操の習慣化。スニーカーの推奨。 ・委員会、研修等による情報提供。（人材育成） ・直接ケア以外の間接業務の洗い出し。日常業務の身近なリスク。
2	【人材育成】 ノーリフティングケアに対し、職員の理解が得られない。	全職員がノーリフティングケアを理解し、スタンダードな方法として取り入れる。	1年	全職員がノーリフティングケアを理解し、必要な入居者に対し実施できる。	3か月	<ul style="list-style-type: none"> ・意識改革の為に研修会、勉強会の開催（R3.7～9月、職員会・モデル事業研修会にて） ・リスクマネジメントの理解の為に研修会、勉強会の開催 ・他事業所の取組状況を伝える。 ・法人内、外の施設見学の計画と実施
3	【ケアの見直し】 入所者に対し、必要なノーリフティングケア方法がわからない	全入所者に対し、必要なケアの方法を取り入れノーリフティングケアができる。	1年	各ユニットの優先順位上位者（5名）への取入れを浸透させる。	3か月	<ul style="list-style-type: none"> ・抱擁予防、擦過傷の発生リスクを知る研修、勉強会の開催（R3.7～9月、職員会・モデル事業研修会にて） ・ユニット会、カンファレンス等でケアの見直しを行う。（個別の事例は、ケアプランに反映させる。） ・必要な福祉用具を検討し、選定・購入。 ・法人内委員会、業者への相談。デモ機等の使用。 ・結果の確認と記録を行い、モニタリング実施。検証を行う。
4	【福祉用具】 福祉用具を使用しない職員が多い。	全職員が、取り入れた福祉用具がすべて使える。	1年	優先順位上位者（5名）のケアに対し、立案された福祉用具を使って介護が行える。	3か月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会、カンファレンス等で対象者に必要な福祉用具を選定。 ・必要な福祉用具の購入。購入後の使用方法について勉強会。 ・委員会、ユニット会での検証。職員会での報告、事例発表。（毎月の会で、対象者の確認。年に1～2度、職員会で報告） ・必要な技術に対応した研修、勉強会の開催。委員会での検討。（導入・購入した都度、入職者への勉強会）
5	【法人：組織改革】 異動した際に、事業所毎に大きな差がある。	法人内の事業所にノーリフティングケアが普及し、同じ水準で働くことができる。	1年	法人内での推進役（指導者）の育成と体制を構築する。	3か月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部全体の協力を得る。事業部会にて各施設長等に報告を行う。 ・法人内に委員会（連絡会）の発足。各施設の代表者が、月に1度（第三週木曜日） ・モデル事業所が中心となり、他事業所に推進する。今年度モデル事業所：開明の杜・あけはま荘

4. モデル事業開始 ~ 活動一覧 ~

法人内『SMILE project ノーリフティング labo』発足
松葉寮・皆楽園・あけはま荘・ケアハウスれんげ・開明の杜が賛同し、第1回目の委員会を開催。目標を掲げ、法人全体で推進していく。委員会は毎月第三木曜日に開催。
『愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業』に選定
6/14付けの通知あり選定を受ける。職員会にて報告し、目標・計画等を伝える。今年度最大のテーマとなる。
実施前説明会に参加
9カ月間のモデル事業がスタート。

第1回事業所研修会開催
モデル事業の説明と研修会を開催。目から隣の研修会。福祉用具を見て体験。福祉用具の注文を行う。
ノーリフティング推進委員会発足

第2回モデル事業所研修会
「福祉用具・機器導入前研修」にて、介護者の姿勢・身体の使い方を学ぶ。実技を通して、技術を教わる。
ケアの統一や福祉用具使用について再検討
対象者の選定、統一した用具と使用方法などルールを見直す・使用する用具の一覧表、マニュアル作成。
床走行式リフトのデモ機使用開始

報告会での発表
普及啓発モデル事業に参加し実践してきた、これまでの軌跡を上手くお伝えすることができるか・・・
モデル事業が終了したこれからは、本当のスタートになることを職員会等でも伝えていく。委員会も継続して進めていく。来年度の予算(要望)等にも、福祉用具を含めて計画していく。

第4回モデル事業所研修会開催
「姿勢の整え方」を教わる。第2弾の福祉用具(ピロー)が納品。
ポジショニングの導入
ピローの当て方などをまとめた資料、マニュアル作成し配布。対象者を決めて実施。



リフトデモ機・福祉用具購入
パラマウント『ミニリフト125』のデモ機を試用。
移座えもんシート・マルチグローブ購入
対象者を固定し、ケアの統一を指示。福祉用具も限定し使用。職員全員がシートとボードの使いこなせるようマニュアルなどを作成。

“まん防”適用にて9月訪問が中止
県下、まん延防止等重点措置の適用で開催が中止。施設内で研修会の伝達訓練、動画研修を行う。
第1弾の福祉用具が納品される
シート、ボード、ターンテーブル、ピタサポなど数種類。
職員対象アンケートを作成、毎月の調査開始
モデル事業も残り半年、意識付けと進捗を知る。
委員会の開催回数を隔週開催へ
月1回から2回にすることで、各ユニットの進捗状況が確認でき浸透スピードが上がる事に期待。

第3回モデル事業所研修会開催
「姿勢の整え方」を教わる。施設ラウンドで更に意識が向上。
移乗支援ロボット『Hug』が、納品
愛媛県の補助金を活用し、導入することが可能となった。
ストレッチ・「これだけ体操@」導入
就業前、休憩時間等で体操を行うよう周知、掲示物を貼付。

第5回目の研修会、オンラインで開催
これまでの研修と実践を振り返りながら、最後の研修会を開催。コロナ禍でオンライン会議となった。第3弾の福祉用具も納品された。(ピロー)
床走行式リフト2台・スマイル1台が納品
待望のリフトが届き、各ユニットに1台配置。

5. 取り組み

～ ケアの統一に向けて ～

研修会で学んだ事の実践・福祉用具の使用開始



問題： 職員のレベルの差が大きく、実施しない職員も出てきた。

対象者(1～2名)を決め、使用する福祉用具と場面を検討

対応：「福祉用具マニュアル」作成、掲示し可視化

対象者への決まりとして使用していたシートとボードは使い始めたが…



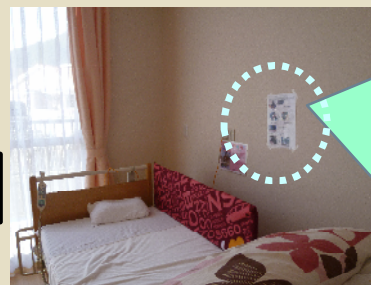
問題： 対象者とは別の入居者への使用・使用する用具が統一できていない。

「福祉用具：使用状況一覧表」を作成し配布。掲示

会議等で、使用状況や見直しを行う。

現状と、認識を調査するため、毎月アンケート実施

対象者に対し、関わる全ての職員が、統一された方法と決められた福祉用具の使用が出来るようになった。



R3.11.10現在
1F 給ず・あんずユニット

	移座 車椅子のベッド	体位変換	膳付・入浴介助 (トイレ等)	デジショニング (座位・臥床時)
A様	フレックスボード	移座えもんシート		ピロ (クッション)
B様	スライディングボード 移座えもんシート	移座えもんシート	ハグ (トイレ・入浴)	ピロ (クッション) キーン・ピタサゴ
C様	スライディングボード	移座えもんシート		ピロ (クッション) ピタサゴ
D様	フレックスボード	移座えもんシート	フレックスボード (入浴) リフト (入浴)	ピロ (クッション)
E様	スライディングボード ・リフト	移座えもんシート		ピロ (クッション) キーン・ピタサゴ
F様	フレックスボード			
G様	ターンテーブル 移座えもんシート			
H様	スライディングボード	移座えもんシート		
I様	フレックスボード	移座えもんシート		
J様	スライディングボード ターンテーブル	移座えもんシート		

5. 取り組み

～ 腰痛体操の導入 ～

令和元年 アンケート集計では…

腰痛が「あり」と答えた職員は、10名/29名 (34%)
その内、「現在の業務に就いて、腰痛が激しくなった」が9名

令和3年度 導入前アンケート

腰痛が「あり」と答えた職員は、12名/26名 (46%)

令和3年度 導入後アンケート

腰痛が「あり」と答えた職員は、10名/26名 (38%)だが…

導入後、身体的負担は軽減したと思いますか？の問いには、
「軽減した」「やや軽減した」と答えた職員が、20名/26名(77%)。



腰痛体操の必要性を伝える

問題: 様々な理由から、体操の時間を取らない。

施設の決まりとして、各自が腰痛体操の時間確保。

問題: 長い時間や、集合しての実施は難しい。

出来るだけ簡単な事から始めよう。

「これだけ体操®」※1の実施。

現在は、「これだけ体操®」以外にも
ストレッチ体操を行う職員も増えた。



※1「これだけ体操®」©監修: 松平浩(東京大学医学部付属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座特任准教授)

5. 取り組み

～ ポジショニングの学びから～

11月・12月の「姿勢の見方」研修を終えて



対象者を選定し、実施

問題： 意味のないクッションの当て方が目立つ

対象者用の資料を作成し、掲示

問題： まだまだ、浸透していない…

今後の取り組み…

定期的な研修会を開催し、ポジショニングの意味を伝えていく。

委員がラウンドを行い、具体的な指示を職員へ伝える。



ポジショニング 見本

・仰臥位 (before)

←：重力の向き →：重さの流れ ○：圧が掛かる場所

※仰臥位を埋めるのではなく、力の逃げ場所（預ける場所）を意識する。部位に注意！
※ポジショニング後、クッションに体重を預けるよう、圧がかかる部分を調整する。

・仰臥位 (after) 理想

5. 取り組み ~ 毎月アンケートの実施から ~



ノーリフティングケアの浸透状況が分かりにくい。

そこで・・・職員の意識付けと、現状を把握するために9月から介護職員(23名)に、毎月アンケートを実施

その結果!

導入の意味を理解できた。 **100%**

導入には前向きだ。やってみたい。 **96%**

率先して福祉用具を使用した。 **91%**

使用頻度は? 必要な場面では使用。 **83%**
(一日に数回使用している。15%)

ベッドの高さ調整を実施している。 **100%**

ポジショニングを意識しながら実施している。 **96%**

体操やストレッチが行えている。 **85%**
(実施したいが、実施できていない。15%)

開明の社 ノーリフティングケア導入に関するアンケート

平素より、ノーリフティングケア導入に向けご協力いただき、誠に有難うございます。
導入元年の今年は、勝負の年と位置付け、更なる向上に勤めてまいります。
ご多忙とは存じますが、アンケートにご協力をお願いいたします。

10月 氏名

◆『愛知県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業』に参加以降(令和3年8月~10月現在)

1	導入の意味を理解できた。	<input type="checkbox"/> 理解できた	<input type="checkbox"/> ままあ理解した
		<input type="checkbox"/> ほとんど理解できない	<input type="checkbox"/> 理解できない
2	導入には前向きだ。やってみたい。	<input type="checkbox"/> 絶対に必要だ	<input type="checkbox"/> やってみたい
		<input type="checkbox"/> あまりやりたくない	<input type="checkbox"/> やりたくない
3	8月以降、何らかの福祉用具を使用した。	<input type="checkbox"/> 使用した	<input type="checkbox"/> 使用していない
3-1	何の福祉用具を使用しましたか? ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 移乗えもんシート	<input type="checkbox"/> グローブ <input type="checkbox"/> スピラドック
		<input type="checkbox"/> ターンテーブル	<input type="checkbox"/> フレックスボード
		<input type="checkbox"/> イージーグライド(移乗ボード)	<input type="checkbox"/> リフト(デモ機)
		<input type="checkbox"/> その他()	
3-2	使用の頻度は?	<input type="checkbox"/> 必要な場面では殆ど	<input type="checkbox"/> 日に()回
		<input type="checkbox"/> 週に()回	<input type="checkbox"/> 全く使用していない
4	介助時、ベッドの高さ調整をしていますか。	<input type="checkbox"/> その頻度、している	<input type="checkbox"/> まあまあしている。
		<input type="checkbox"/> ほとんどしていない。	<input type="checkbox"/> 全くしていない
5	腰や身体の負担が大きい場面は? ※複数回答可 ※具体的な意見がある方は問9に記入して下さい	<input type="checkbox"/> 移乗介助(車椅子⇔ベッド)	
		<input type="checkbox"/> トイレ誘導(車椅子⇔トイレ)	
		<input type="checkbox"/> 入浴介助(シャワーチェア、ストレッチャー移乗)	
		<input type="checkbox"/> 排泄介助(ベッド上での交換)	
		<input type="checkbox"/> その他()	
6	使用したい/導入してほしい福祉用具が、 ありますか? その福祉用具を教えてください。		
7	福祉用具を使用する際の不安があれば教えてください。		
8	問1、問2で、「(ほとんど)理解できない」「(あまり)やりたくない」と答えられた方は、その理由を教えてください。		
9	【自由意見】 上記以外の事など、導入についての意見や感想があれば、ご記入ください。 ・勉強会の開催、施設見学希望など		

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

開明の社 ノーリフティングケア導入推進委員会

5. 取り組み

～ 福祉用具 ～

経費助成内で購入した福祉用具

9月	車椅子クッション補助ボード キソ	4
	ポジショニングサポート ピタサボ	10
	フレックスボード	1
	ターンテーブル ハードS	3
	スピラドゥ(ピンク)	1
	イージーグライド オーバルミニ	1
	イージーグライドS	1
	移座えもんシート	1
11月	フレックスボード	1
	ロンボ ポジショニングピロー RF5	3
	ロンボ ポジショニングピロー RM1-H	5
	ウェルビー ブーメラン大	1
	ウェルビー スティックタイプ大	1
調整	ロンボ ポジショニングクッション(初回セット)	1
	移座えもんグローブ	1



5. 取り組み

～ 福祉用具 ～

自施設で購入した福祉用具など

福祉用具	移座えもんグローブ	6
	移座えもんシート M	4
	移座えもんシート ML	2
	フレックスボード	1
	イージーモーション	1
	イージーグライド	2
リフト	移乗サポートロボット Hug	1
	介護リフト スマイル	1
	床走行式電動介護リフト つるべー	2
その他	研修用 介護ベッド	1



5. 取り組み ~法人内 SMILE project『ノーリフティングlabo』発足~

令和3年5月、事業部より声が上がリ、法人内の入所系5施設を中心に、メンバーを募り委員会を発足する運びとなる。3年後には法人内どの施設でも同じクオリティでのサービスが提供できるよう、お互いを刺激し合い、協力しながら進めていく委員会。毎月第3木曜日に開催することとした。

課題

異動先でノーリフティングが行われていない。

福祉用具や考え方のレベルに、大きな差。

施設単体では、教える人がいない。

何から始めて良いかも、わからない。情報も少ない。

人力介護が根強く残っている施設が多い。

法人全体でイメージアップを図り、求人に繋げたい。

令和4年度 モデル事業所
特別養護老人ホーム開明の杜



令和元年度 モデル事業所
特別養護老人ホーム松葉寮



特別養護老人ホーム皆楽園



ケアハウスれんげ



令和4年度 モデル事業所
特別養護老人ホームあけまは荘



ノーリフティング
Labo



5. 取り組み ~法人内 SMILE project『ノーリフティングlabo』発足~

目標

『ノーリフティングケアが当たり前』

活動内容

今後の取り組み

法人内どこの施設でもノーリフティングケア

モデル事業での内容を伝達

座談会

指導者の育成

新規採用者、異動者の育成

全体で教え合いができる環境作り。

意見交換会

事業所での取り組み・状況把握

介護ロボット・福祉用具の購入

介護教室

新人指導ができるレベルに

研修会情報

施設内見学

施設ラウンド

交流会

ユニフォームの制作

市外、県外の視察

県で一番の法人に。

全国大会

グループLINE

困難事例の相談、解決まで

技術の確認

ホームページを使ったイメージアップ

職員の腰痛ゼロ

勉強する場所

導入機器、デモ機の情報

ポジショニング、移動方法の相談

報告会・事例発表

サークル活動

ノーリフター※1育成

自由参加の勉強会

メンバーの募集

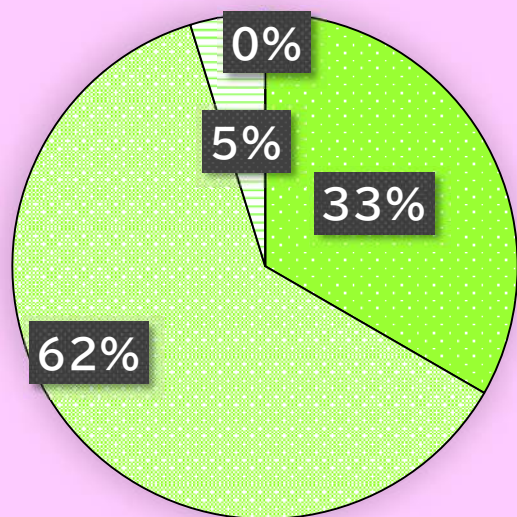
委員の勉強会

求人につながる動画作成



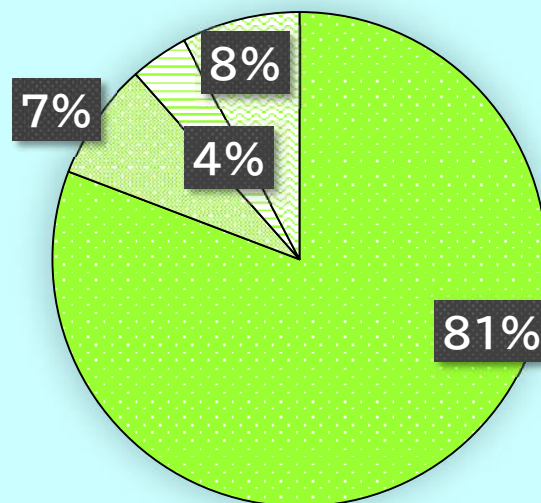
6. 事後アンケート

導入後、身体的負担は
軽減したか？



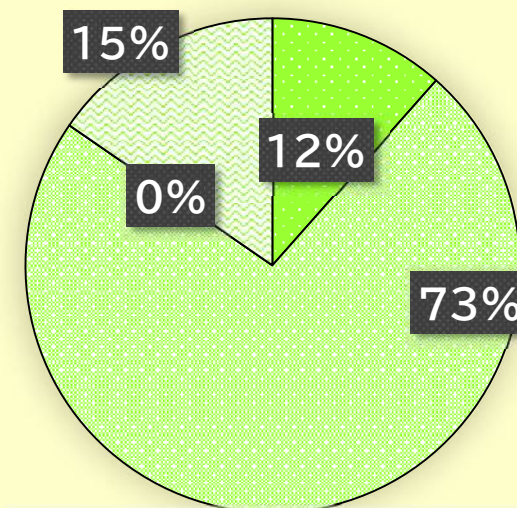
- 軽減した
- やや軽減した
- ほとんど軽減しない
- 全く軽減しない

導入後、福祉用具・
機器の利用状況



- よく使う
- あまり使わない
- 全く使わない
- 無回答

学んだ事を日常業務に
反映できているか？



- 実践できる
- 少しずつ実践できている
- 実践できていない
- 無回答

7. まとめ

～ 職員の感想・波及効果 ～

リフトがすごく便利で、身体への負担が無く驚いた。

特に、「姿勢の見方」など、姿勢や体圧を意識できるようになった。

次は浴室での介護方法を見直したい。

腰を痛めないよう、意識しながら介助するようになった。

今までの、間違ったケアに気付いて良かった。

107歳のご利用者に苦痛なく移乗できた時は、嬉しかった。

今後も継続して取り組んでいきたい。

もっと時間をかけて取り組めれば良かった。

ノーリフティングケアは絶対に必要。

ポジショニングでは、利用者の身体の緊張がほぐれていることに気が付いた。

もっと、詳しい知識を身につけたい。

研修会があれば参加したい。

弾性ソックスが楽に履かせることができるようになった。

全ての研修会に出席できなかった(泣)。

環境整備



アイデアを出し合い、使い易い場所へ収納。

7. まとめ

ノーリフティングケアの導入について、必要性を感じながらも…どのように進めていくのか。福祉用具をどのように使えばよいのか分からず、一からのスタートとなりました。「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業」に応募しモデル事業所に選ばれたことは、私たちにとって、大きな大きな一歩となりました。

今までの「人力介護が当たり前」…そのことが利用者様の変形拘縮や褥瘡を招き、また、職員の腰痛の原因もそこにあることを学ぶことができました。研修を受けるたび、私たちのケア一つ、取り組み一つが「双方の安心・安全」に繋がる事を身に染みて感じるようになりました。

事業開始後…積極的に活用できる組織にしたいとの意気込みも、根深く残っている「力任せの介護方法」が壁となり、統一したケアを浸透させる難しさに悩みました。残念ながら…モデル事業を終える今も、まだまだスタンダードな方法には至っていません。

モデル事業が終了したこれからが『本当のスタート』と、全職員で再確認をし、介護という職種が、更に専門的に、もっと魅力的になるように頑張ります。

8. 今後の課題・取り組み

『モデル事業』で学んだ事を施設・法人に根付かせるために。

開明の杜

腰痛ゼロを目指した環境作り。

委員会の継続、計画的な取り組み。

研修を重ね、知識と技術の向上。

担当者会議での検討、ケアプランでのPDCA。

環境整備(浴室など)やケアの見直し。

法人『ノーリフティングLabo』

指導員の育成、職員への指導。

地域や学校等での介護教室開催。

法人全体のノーリフティングケア宣言。



ノーリフティングケア宣言!

私たちは、介護する側・される側 双方が安全で安心な
“抱え上げない” “引きずらない” ノーリフティングケアを行います!

ストップ! **ストップ!**

介護の現場を救う「抱えない介護」
ノーリフティングケアの
実践で利用者も介護者も、
もっと笑顔に!

腰痛 **二次障がい**

- ◎正しい姿勢で介助して腰痛を防ぎます。
- ◎福祉用具を適切に使用し、腰に負担のかかる力任せの介助は行いません。
- ◎休憩やストレッチ、睡眠時間など、健康管理に留意して体に疲労を残しません。
- ◎身体構造に合った姿勢の保ち方、動き方を理解し、筋緊張のない介助を行います。
- ◎その人の身体にあった車いすや介助度にあった適切な福祉用具を使用します。
- ◎介護される方が怖い・痛い思いをする「抱え上げ」や「引きずる」介助は行いません。

介護者も利用者も
安心・安全で
ストレスフリーな
介護現場の実現へ!

令和3年度 ノーリフティングケア普及啓発モデル事業所
地域密着型特別養護老人ホーム **開明の杜**

※介護用ノーリフティングケア普及啓発モデル事業は、「開明の杜」実務員が介護福祉施設が受託から事業を委託して実施するものです。

9 終わりに



『令和3年度愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業』に
選定して頂き、誠にありがとうございました。
本事業に携わって頂いた、すべての皆様に感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

地域密着型特別養護老人ホーム 開明の杜 職員一同

